

**児童発達支援事業所における自己評価結果  
(公表)**

公表： 令和4年3月31日

事業所名                      学び舎 with 梓川教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		目安となる数値よりも広いスペースを確保しています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		法定基準以上の配置をしております。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		活動内容をホワイトボードで記載したり、トイレや療育室などの看板掲示をしてわかりやすくしています。また室内に段差なくバリアフリー化になっております。	視覚支援として絵や図等、今後必要に応じて増やしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		活動場所は清掃の実施や整理整頓できております。また活動内容により、環境の工夫をしております。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		正規・パートそれぞれが参画でき、周通のよい環境ができるように努めています。	その都度行っていた為、定期的な日程確保などは今後検討していきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている				開所1年未満の為、今回が初めての評価表である。その為今後業務改善につなげていきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している				今回が初めてである為、公表していきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価の機会は現状ない為、必要に応じて検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部講師を招いて研修する機会を確保しています。	今後も定期的に行なっていきます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントやニーズを聞き取り、課題等を作成しております。	児童発達支援管理責任者の分析が主になっている為、今後は指導員の分析も多く取り入れていけるようにしていきます。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所独自でアセスメントツールは共通のものを使用しています。また外部で発達検査等を受けている児童は情報共有してもらい、参考にさせてもらっています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		本人の特性と発達過程を客観的に判断し、支援内容を考案しておりますが、家族支援や地域支援は選択されにくいのが現状です。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		児童発達支援利用は少ないが、どのような活動にするか相談して決めています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		児童発達支援利用は少ないが、様々な内容（音楽、工作、運動等）を均等に組み入れるようにしています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		現状集団活動の実施はできていないが、個別・集団を意識した内容を支援計画に取り組みしております。	児童発達支援利用児が増えた際には、個別・集団と組み合わせる計画を作成していきます。
17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				該当利用児の契約はありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				該当利用児の契約はありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		支援会議に参加し、情報共有に努めております。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		支援会議に参加し、情報共有に努めております。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		利用時、指導報告書での報告や送迎時にお話させて頂いております。	
保護者への	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		プログラムとして実施する事は難しい為、個別対応となると思いますが、今後利用児が増えてくるようであれば検討していきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時実施しております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		児童発達支援契約利用児は少ない為、今後増えてくるようであれば保護者様同士の繋がりのお機会も考えていきます。

説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	現状事業所での行事はないが、学習塾が併設されている為、地域の中で開放的に運営するように努めています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	保護者周知は現状出来ていない為、今後できるようにしていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		実施機会が少なかった為、定期的の実施できるようにしていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○		契約時に確認させて頂いております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			アレルギーの確認はさせて頂いておりますが、現状該当者はいません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットを共有するように努めています。事例集の作成は実施していない為、今後検討し共有していきたい。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部講師を招いて研修する機会を確保しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			該当利用児の契約はありません。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。